



二〇一八 春号

# 海禅寺新聞

Vol.17

## 海禅寺新聞 第17号

3月に入り、日差しの中にも春を感じる候となつて参りました。足元に目を移せば、草花も目を出し始めています。

芽吹き季節、皆様にとつても様々によき風が吹きますよう、お祈りしております。

## 生きる力 Vol.92 送付

真言宗智山派で、檀信徒の皆さまに向けて作成をしている情報誌『生きる力』を送りいたします。今回の特集は「生きる力 仏さまに祈り、仏さまと出会う」です。仏さまに思いを向ける生活の中で芽生える生きる力について書かれています。ぜひ一読ください。

## 春彼岸会 中日法要のご案内

恒例の春彼岸会法要を海禅寺本堂でお勤めいたします。どうぞご家族そろつてお出かけください。(申込不要)

日程：平成30年3月21日(水・祝)

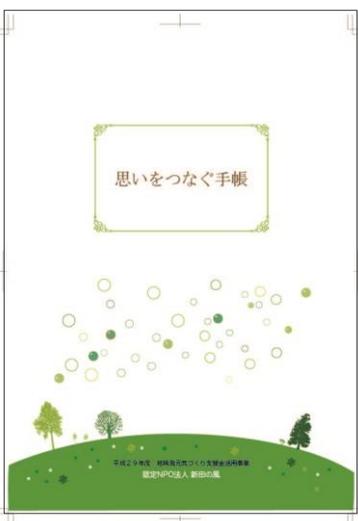
時間：受付 午前10時

法要 午前10時30分

※法要終了後は、皆さんで茶話会をいたします。和やかな時間を一緒にしましょう。

※認定NPO法人「新田の風」において今年度新たに作成をした、『思いをつなぐ手帳』をご紹介します。これは、仮に認知症

になつた時、関わつてくれる人にあなたらしさを知らせるためのメッセージ集です。これをあらかじめ準備しておくことで、心ある生活の援助を受けられることを目的にしています。ご希望の方は購入もしていただけます。(1冊 300円)



※彼岸会中日法要の供養塔婆をご希望の方は、3月17日(土) 夕刻までに電話またはファックスで、寺にお申し込みください。(供養塔婆料 一基 3000円)

電話 0268-2212972

ファックス 0268-261147

## 海禅寺数珠つなぎ

海禅寺にかかわる皆さんの声を、

お数珠のようにつなげ、ご紹介していきます

## 檀家世話人 土屋 啓郎さん 5人目

今回は海禅寺の檀家世話人をお務めいただいている土屋さんです。

## 二つのお墓

皆さんの墓地でも、同じ区画内にお墓が幾つか並んでいる方も沢山いらつしやると思います。それも同じ姓(名字)のお墓が大半だと思います。表題の、二つ



のお墓、の意味はちよつと違います。別々の場所2カ所に、姓の違う墓地があります。1カ所は自分の家の墓地、土屋家のお墓。もう1カ所は、赤羽家のお墓です。赤羽家のお墓は江戸時代からだと思われ古いお墓が幾つかあります。また家の仏壇の中にも、赤羽家に関する位牌等があります。子供の時から、おそらく物心ついた頃から、祖父母や両親に手を引かれて、お墓参りに来ると、必ず、赤羽家の墓地の前では、このお墓はずつと守つていくようにと、常に言い聞かされてきました。このため、今では私の子供にも同じ事を言い聞かせています。

お寺の墓地の門をくぐると、門に近い方が赤羽家ですので、最初にお線香を上げてお参りします。次に自分の家の墓地に行きます。この順序は長年変わることはありません。私の家は分家で、私が3代目です。本家は何代か続いていますが、今の本家の主は何代目か、私には、はっきり分かりません。また本家の菩提寺は金昌寺です。本来分家は、本家と同じお寺が普通です。しかし我が家の菩提寺は祖父母の時から海禅寺です。

生前の両親に、赤羽家とはどんな関係があるのか、聞いたことがあるのですが、両親の説明も曖昧で、はっきり分かりませんでした。このため、いまだに私の子供にも正しく説明出来ないうです。

両親から聞いてきた話を総合して私が推測すると、祖父が赤ん坊の頃からだと思われませんが、大変可愛がつて、世話をしてくれた方が赤羽さん夫婦で、赤羽さんには子供も無く、また親戚もほとんど無かつた。そこで祖父には兄がいましたので、当然、祖父が結婚すれば分家に出ることが分かつていたため、祖父の親に、後を祖父にお墓を守ってもらうように、頼んだものと思われまふ。その赤羽家の菩提寺が海禅寺であつたため、本家とは別のお寺の檀家になつた。これが大まかな理由ではないかと考えています。

土屋家と赤羽家とは、お墓の維持・管理を頼むくらいですから、全く赤の他人では無いような気がします。どこかでつながつているような気がしてならないのです。

私が元氣なうちに、赤羽家に関する詳細を子供達に説明しておかないと、代が進むに従つて益々分からなくなつてしまふものと思ひます。何とか、お忙しい住職や副住職にお願いして赤羽家のルーツを調べたいと思つています。

長年、他人のお墓を守り続けていれば、いつかは御利益があるかもしれない、と思ひながら二つのお墓に手を合わせています。

## 寺より

一族の墓地のみならず有縁のご先祖の供養もされていること、大変に貴いことだと思ひます。またそうした文化を、次の世代であるお子様にも伝えていくのは、更にその意義を深めていきますね。非日常である墓地という空間で祈ることは、どこか私たちが謙虚な心持ちにする働きがあります。それを家族で行うことで、理屈ではない「絆」が芽生えていくのでしよう。

そして丁寧な墓参を通じて、祈りの文化が一族の中で伝承されていくこと、そうしたご家族のありようの中で、既に「利益」は存在しているのかもしれない。寺として墓地という場が、こうした心のリレーが行われる場所になつていくことを、大変嬉しく思ひます。

合掌

おねがい

## 第7回 聖天祭 開催決定

寺に多くの人々が集って欲しいと願い、始まった聖天祭は今年で7回目となります。今年も聖天さんのご利益にあやかり、人と人との様々な縁が芽生える一日となるよう、さまざまな企画を準備中です。そして今、実行委員会では、お祭りをお手伝いいただける方を大募集中です。仕事の内容は、会場準備片付け・駐車場係・会場案内見回りなどですが、ご無理のない可能なお時間の範囲で構いません。お祭りを作り上げる喜びを共有していただき、お檀家の皆さん同士、よい仲間の輪が広がっていくことを願っております。ぜひお気軽にお問い合わせください。

※お祭り終了後、別日に慰労会もごさいます。  
※詳しいお祭りのご案内は、詳細が決まり次第、追ってお知らせいたします

### 【聖天祭詳細】

日程：平成30年5月20日(日)  
時間：午前10時～午後3時  
入場：無料

# 聖天祭



## スタッフ募集

まずはお気軽に

お問い合わせください

よろしく  
お願いします

## 報告 地域寺院倶楽部シンポジウム

### まちに開く、まちを拓く

### ～地域とともに生きる寺院の姿～

大正大学地域構想研究所が主催するシンポジウムが2月22日に東京都豊島区の同大学で開かれました。この催しに海禅寺の副住職が、事例発表者3名のうちの1人選ばれ、聖天祭について報告をし、パネルディスカッションにも登壇して参りました。



これから地域社会に必要とされる寺院のあり方を探ることを目的とされたこのシンポジウムには、僧侶以外にも大勢の参加がありました。

聖天祭について、寺に人が大勢集まる催しとして6年前から開催していること。そして事のおこりとして、檀信徒の皆さんの善意によって聖天堂の改修および内部の荘厳が整い、こうした皆さんの思いを、何らかの形にして広く還元したいという寺の意向があったことなどを話しました。

参加者からは、開催に至るまでに苦労したことや、今後の展望についてなど、様々な質問をいただき、多くの関心が寄せられました。お檀家さんを中心に組織される実行委員会を起点に試行錯誤を重ねてきた聖天祭が、こうして注目を集められるまで

に成長しつつあることに、感謝の念が耐えませんが、これからも寺に来てくださる方々の思いを丁寧を受けとめながら、継続していきたいと思います。どうぞ引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

## 告知 海禅寺企画

### 本山参拝・京都七福神まいり

京都へ七福神を訪ねて巡礼の旅に出かけませんか？前号の海禅寺新聞でも話題にしました巡礼のお誘いです。

総本山智積院を住職が先達のもとに正式参拝し、日本で最古の歴史がある京都七福神を巡拝します。七福神を祀っているのは、それぞれ大変に有名な寺社ばかりです。

- ※「えびす神社(恵比寿)」「妙円寺(大黒天)」「東寺(毘沙門天)」「六波羅蜜寺(弁財天)」「赤山禅院(福祿寿)」「行願寺(寿老人)」「萬福寺(布袋尊)」

海禅寺の檀信徒各位の親睦を深めながら、日常を離れて神仏に手を合わせ、秋の深まる京都を満喫してきたいと思えます。また和気あいあいと楽しい時間が過ごせるような工夫も準備してまいります。ぜひお申込みください。

日程：平成30年10月28日(日)

費用：3万1千円(詳細別紙)

宿泊：智積院会館

交通手段：観光バス

募集人数：25名



※詳細およびお申込みについては、同封の別紙をごらんください。

## 初参り



先日、海禅寺本堂にて「初参り」が行われました。これはお子様が生まれて初めてお参りする行事です。(神道で行われるお宮参りとほぼ同義)。これからの健やかな育ちを親御さんと共に祈りしました。

この世に生まれて間もない命の存在に感謝し、そして私自身を見つめる一時。小春日和の中、清々しい風が境内を吹き抜けました。

※「初参り」は年間を通してお申込みいただけます。詳しくはお尋ねください。

## ホームページが

### 新しくなりました!

この度、海禅寺のホームページがリニューアルいたしました。海禅寺とは...

「過去から私に繋がる様々な縁

そして今の足元から無限に広がる

これからの縁

戦国武将の真田昌幸公が

上田城の鬼門除けとして建立した

祈りの歴史を今に受け継ぎ

ほっこり安らぐ

皆さんの故郷のような場でありたい」

パソコンでなくとも、スマートフォンからでも見ることが出来ます。ぜひご覧いただき、ご意見ご感想をお寄せください。

### 【閲覧の仕方】

・「海禅寺」で検索する または

検索 URL <http://kaizenji.jp/> を入力



発行元 海禅寺